キャラクター名: 玄巳木 佐紋(くろしき さもん)　アマテラス仕様

プレイヤー名:

シンドローム	ウロボロス / ノイマン	ワークス	UGN支部長C	カヴァー	アマテラス艦長
オプショナル		年齢	60歳	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	飢餓	初期侵食率	30 %
出自		経験		邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	1	0	0			1
精神	5	1	0			6
社会	1	0	0			1

HP	28
行動値	8
(非装備時)	8
戦闘移動	13
全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転：			芸術：			知識：	2		情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
10dx@8+1 影鯱-Orca-	ＲＣ	10r+1		10		CR+ｼｬﾄﾞｰ+無形+ｱﾆﾏﾙ (12)
11dx@8+1 影鯱-Orca-(60%)	ＲＣ	11r+1		10		CR+ｼｬﾄﾞｰ+無形+ｱﾆﾏﾙ (12)
12dx@8+1 影鯱-Orca-(80%)	ＲＣ	12r+1		10		CR+ｼｬﾄﾞｰ+無形+ｱﾆﾏﾙ (12)
14dx@7+1 影鯱-Orca-(100%)	ＲＣ	14r+1		12		CR+ｼｬﾄﾞｰ+無形+ｱﾆﾏﾙ (12)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ:UGN幹部	
コネ:噂好きの友人	
コネ:要人への貸し	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
ロイス:アマテラス(三海の女神)	P	N		
ナロア	P 信頼	N 食傷		
血濡れた福音”サン・マルコ	P 執着	N 敵愾心		
影鯱(Orca)	P 信頼	N 脅威		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
CR:ウロボロス	2	2	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	-	-	
効果：	C値-LV							
無形の影	1	4	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	-	-	
効果：	【精神】で判定できる。1回/ﾗｳﾝﾄﾞ							
シャドースクラッチ	5	2	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	対決	-	
効果：	攻+[LVx2]							
猛り喰らうもの	1	3	ﾒｼﾞｬｰ	-	単体	対決	ﾘﾐｯﾄ	
効果：	攻撃のﾀﾞﾒｰｼﾞを+2D(+1D)する。1回/ｼｰﾝ							
虚ろなる軍団	1	4	ﾒｼﾞｬｰ	-	範囲(選択)	-	100%	
効果：	範囲(選択)に変更。ﾀﾞﾒｰｼﾞ+2D							
原初の赤:アニマルテイマー	3	3+1	ﾒｼﾞｬｰ/ﾘｱ	-	-	-	-	
効果：	ダイス+[LV+1]個							
戦術	5	6	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	視界	ｼｰﾝ(選択)	自動	-	
効果：	ﾗｳﾝﾄﾞ中ﾒｼﾞｬｰﾀﾞｲｽ+LV個。自分不可							
まだらの紐	★							
効果：	影で偵察できる							
構造看破	★							
効果：	影を自由自在に動かせる							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

UGN最強の強硬偵察部隊「アマテラス」の司令官にして、潜水戦艦「アマテラス」の艦長。
ちょっとしたことには動じない冷静沈着な性格。
その豊富な経験から展開される斬新で老獪な戦術を駆使し艦隊を指揮している。
自らが戦闘に参加する場合は、彼の影に潜み鯱の形をとるEXレネゲイド"影鯱(Orca)"を操り敵を喰らい尽くす。

元々は、隣国からの密入国オーヴァードや領海内で行われるレネゲイド犯罪等を取り締まる海上部隊、
「UGN日本支部海上警護部隊」の出身。当時の通称は"提督"。
顔と身体の至る所に現役時代に負った傷の跡が残っている。
部隊長として指揮を行うと共に、心を通わせた鯱のAオーヴァード"オルカ"を操り海上戦においては無類の強さを誇っていた。
しかし、数年前の戦いで敵の攻撃から佐紋を庇ったオルカが死亡、佐紋は現役を退いた。

それから数年、平和だが少し退屈な日常を過ごしていた佐紋の家を、ジャームの集団が襲う。
現役を退いた身では抵抗できるはずもなく追い詰められてしまうが、そんな状況の中で佐紋は自分が微笑んでいることに気付く。
久々に対峙する戦いの高揚感と、人々の日常を守る使命を得た充実感が彼を満たしていた。
それに気づいた直後、佐紋の影が急速に膨張し彼を飲み込んだ。
影に飲み込まれた先で佐紋は、かつての相棒"オルカ"と再会する。
"オルカ"は肉体が滅んだ後もレネゲイドとして佐紋の周囲を彷徨い続け、佐紋に再び闘志が宿るのを待っていたのである。
相棒と再び戦いへ赴く決意をした佐紋は、影鯱として蘇った"Orca"と共にジャームを撃退した。

本編の1年前、彼を慕うかつての部下に声をかけられ「アマテラス」へ参加。
艦に搭乗してからは「下積みから始めたい」と周囲の反対を押し切って整備士として働いていた。
しかしある日、前艦長シャロン・ムーアに艦を降りるよう通達され、直後に同部隊は壊滅した。